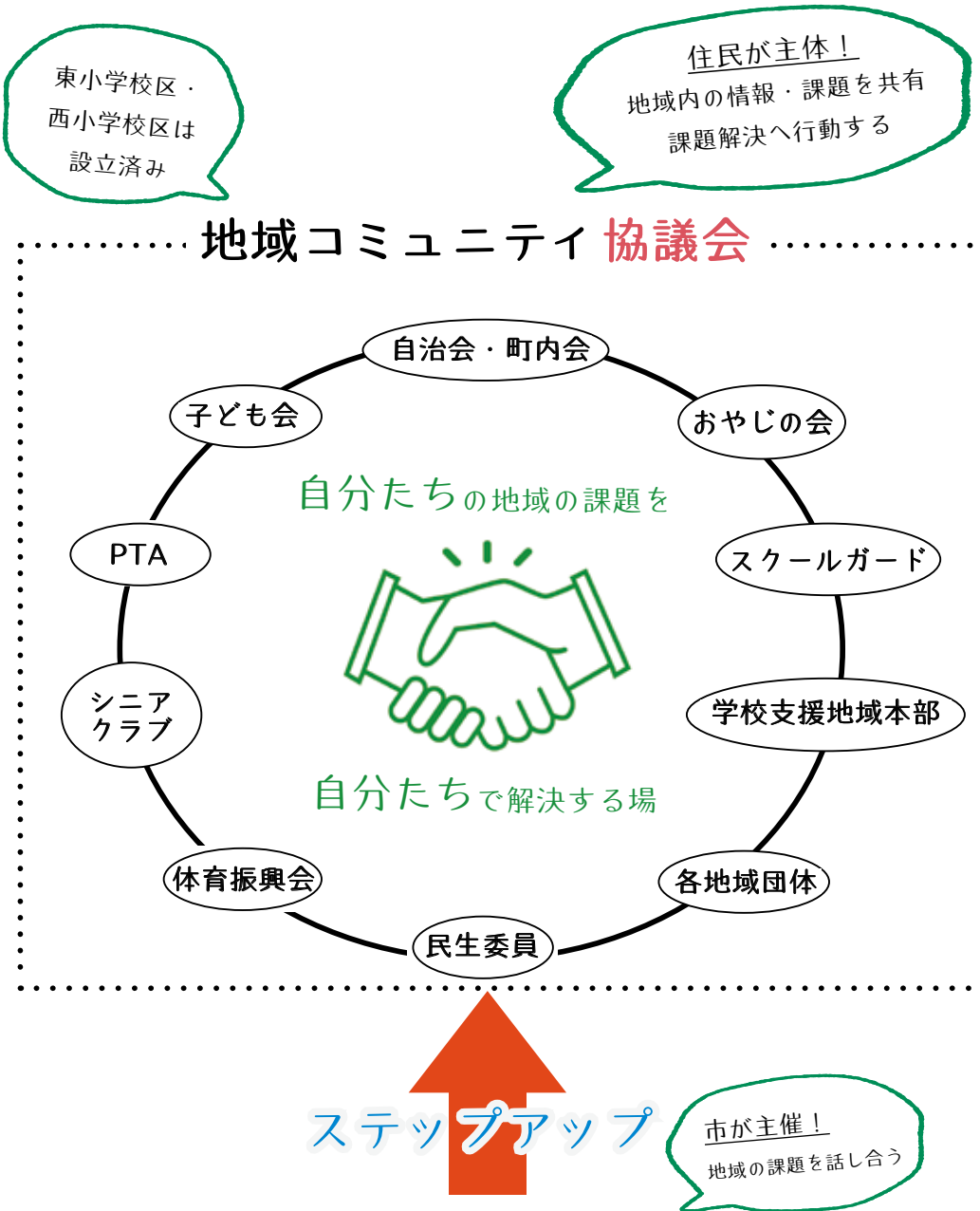


地域コミュニティ「連絡会」から

地域コミュニティ「協議会」へ



地域コミュニティ 連絡会

- ・ 協議会が設立されていない小学校区で年2回開催
- ・ 各回、市がテーマを設定
- ・ 協議会のメンバーとなるような団体の人が出席
- ・ 情報・意見交換や地域の課題解決に向けた話し合い

地域の課題は、地域の住民で解決するという基本的な地域づくりの考え方のもと、

市は、14小学校区のすべてで地域課題を共有し、解決のために活動する「地域コミュニティ協議会」（以下「協議会」）の設立を目指しており、すでに、東小および西小学校区では協議会が設立されています。

また、南小学校区においても設立に向けた準備が進み、他の小学校区においても、協議会設立を目指し、年に2回「地域コミュニティ連絡会」（以下「連絡会」）を開催しています。

今年度1回目の連絡会では、「居場所づくり（高齢者と子どもとの交流など）」および「地域で子どもを育てる」をテーマに、また、2回目は、「三島市のごみ量の現状と将来の目標」および「多くの住民・団体が関わる自主防災活動」をテーマに開催されました。

問きすなひぐり推進室 ☎ 9833・2708



誰もが地域の問題を
提起出来る環境を作る

東小学校区
地域コミュニティ協議会長

早川 義徳さん

—Profile— 日の出町出身。南二日町在住。南二日町自治会の体育振興会部長、体育振興会会長を歴任。南二日町自治会長を現在まで5期9年務めている。平成29年度から東小学校区協議会の2代目会長に就任。

東 小学校区では、平成27年から地域コミュニティ協議会を設立し、目標として、「地域の行事の参加者を増やそう」、「高齢者を近所で支えよう」、「地域で子ども達を育もう」の3つを掲げています。協議会には53の団体が参加しており、地域の課題に関する意見交換をしています。平成29年から実施している防犯パトロールには、134人の住民に協力いただき、子どもたちの登下校時に自主的に見守りをする仕組みを作ることが出来ました。



協力者が日々の空き時間で、登下校中の子どもを見守る防犯パトロール

することで、地域全体が力を合わせて、解決に向けた行動をおこすことができます。協議会の活動を多くの人に知ってもらい、地域の課題に対する要望をどんどん出してもらえればうれしいです。

東小学校区地域コミュニティ協議会の仕組み



■協議会のメリット

- ・地域内の問題を地域で解決できる
- ・問題に迅速に対応できる
- ・地域内の多くの人の協力が得られ地域のつながりを深められる

協 議会の事務局長として、運営事務を担当しています。協議会役員や所属団体、行政などへの連絡や会合の準備など大変なことも多いですが、とてもやりがいを感じています。

昨年、協議会では新たな取り組みとして協議会主催の児童作品展を開催しました。「きずな」、「防犯パトロール」、「歩行喫煙ポイ捨て禁止」をテーマに東小学校の子どもたちにポスターを描いてもらうもので、子どもたちの郷土愛（きずな）を育て、協議会を多くの人に認知してもらうことができたと感じています。

今後は、私自身の事務局長としての経験を次の世代や他



自分たちの活動を
市全体へ広げていきたい

東小学校区
地域コミュニティ協議会事務局長

渡邊 茂さん

—Profile— 山梨県出身。東本町在住。東本町2丁目の自治会副会長を経て、現在は評議員を担当。また、市の民生委員も務めている。平成27年度の設立当初から、東小学校区協議会事務局長を務め、運営に尽力している。



児童作品展のポスターは、東小学校、市役所などで展示し、東小学校体育館で表彰式をおこないました



の地区に伝え、協議会を持続的な組織とすることを目標としています。そのために、運営事務のマニュアル化を直近で取り組む予定です。協議会の活動が多くの person から共感いただけるよう、これからも頑張っていきます。